

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港大学 (国名: 香港)	
留学先学部名(またはプログラム名)	社会科学部	
留学期間	2013 年 9 月 ~ 2014 年 5 月	
学部/学府・年次	芸術工学府	1 年次~ 2 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年間)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため ④. その他(具体的に記入) 修士論文のための研究期間が十分でないため	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	就職活動は今後はじめます。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	香港には七つの大学があるが、それぞれ採用している教育方式が異なる。また、留学先である香港大学の中でも、所属する学部によって授業方式がやや異なる。社会科学部の授業は、たいてい週に二時間の講義と一時間のチュートリアルで構成される。授業の規模にもよるが、講義は講師の話の聞くだけのものが多い。チュートリアルでは、プレゼンテーションやディベート、ディスカッションなどを行う。ほとんどのチュートリアルは大学院の学生が指導する。ひとつの授業あたり、小テストやショートレポート、プレゼンテーションといった課題が数度出され、評価は各々の課題を総合して決定される。理系の科目においては、チュートリアルの代わりに実験が行われることもある。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>香港大学では半期あたり600人以上の交換留学生を受け入れており、交換留学の手続きやサポートに関しては申し分ない。留学前に準備するものや学生登録の仕方について指示があるほか、家具の購入や香港大学内の施設の把握、香港の観光地をガイドしてくれる学生による留学生のためのイベントも積極的に行われている。さらに、ローカル言語を学びたい学生のために短期間の広東語講座が用意されていたり、英語でのディベートやレポートを心配する学生のための1時間程度の講座が週に数度用意されていたりする。学内には健康センターがあり医師(歯科医師含む)が常駐しているほか、テスト期間になると、勉強の合間に休憩をとることをすすめるポスターが貼られ、生徒の精神衛生面への気配りがなされている。一般に香港の家賃は非常に高額だが、大学のCEDARSを通して割り当てられる住居は、寮はもちろん大学の借り上げたアパートでも大学の補助を受けて比較的安く借りられる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>香港大学は、香港の中でも歴史のある大学で、学内にはイギリス統治時代の歴史的遺産もある。学生は国際色豊かで、さらに同じ中国系の中でも、香港人、台湾人、マレーシア人、シンガポール人、上海人などといったそれぞれが自分たちのコミュニティを形成している。学部生の7割が香港人であると言われているが、一口に香港人と言えどインター出身の学生も多く、ローカル校出身の学生とまた雰囲気異なる。また、大学院を含めた学内全体としては中国本土人が多い。院生のうちの本土人の割合が大きく、また、交換留学生の中でも本土人の割合はとても大きい。中国本土の大学から交換留学に来ている学生もいれば、アメリカやカナダの大学に本科生として在籍した上で、交換留学生として香港大学へ留学している本土人もいる。</p> <p>多くの学生が自国の言語と英語、中国語を話すことができ、中には、それに加えて日本語や韓国語といった別の言語を話せる学生もいる。多くの香港人の学生は普段広東語を使用し、サークル活動も広東語で行われるものが多い。就職活動においては普通語が必要であるため、香港大学で行われている香港人のための普通語の授業を取っている香港人もいる。</p> <p>さらに、学内では常にどこかで改修工事が行われており、店舗の入れ替わりの激しい香港の街の一片も感じることができる。学内には研究棟や講義施設のほか、ジムや博物館、多くのカフェテリアもある。また、大学の裏からは、香港の名所であるピークへ歩いて登ることもできる。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>まず、立地に関して、香港大学は非常に便利な場所に位置している。ローカルのお店がひしめく地域にも、金融都市らしい近代的な地域にも、さらに飲み屋の集まる地域にも比較的気軽に足を運べる。授業が始まると忙しくなるが、ぜひ大学生活とともに香港の街を満喫してほしい。</p> <p>言語の面では、香港人の学生は、広東語、普通語、英語を話すことができるが、サークル活動などといった授業以外の場面においては広東語を使用することが圧倒的に多い。英語または中国語だけでも生活はできるが、食事や交通機関、住居においても多少の広東語は必要になるので、簡単な広東語を覚えておくとよいと思う。</p> <p>また、他大学に関して、香港には香港大学を含め7つほどの大学があるが、交換留学する大学によって、交換留学生としての生活はまるで違うものになるとも言われている。機会があれば、香港の他大学に交換留学している学生とも意見交換をするなどして他大学の様子も伺うとおもしろい。本年度、香港大学に所属していた日本人のうち、同様に交換留学生として在籍している者は15人程度であった。香港人や他国から来た学生たちとのやり取りから得られるものはとても多く、新鮮であったが、一方で、留学先として敢えてアジア圏内の香港を選択した日本人の留学生との会話から得られるものもまた多かったと感じる。香港大学に交換留学している他の日本人とも交流することをすすめる。最後に、香港の蚊は非常に強力なので、十分注意して過ごしてほしい。</p>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港大学、CEDARS</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>大学から指示された書類に記入し、交換留学の申請の際に同封した。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>7週間程度</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>6ヶ月以上香港に滞在する場合は、HKID カードの申請を行う。申請は、事前に予約した上で香港のイミグレーションセンターにて行うことができる。</p>
<p><b>3. 日常生活</b></p>	

<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>ほぼ日本と変わらない条件で暮らせる。交通機関は発達しており、街の清掃はある程度行き届いている。トイレは水洗。買い物はローカルの商店またはショッピングモールで十分に事足りる。物価は、ものにもよるが大抵は同程度。日本を含む様々な国の料理を食べることができ、寮のキッチンを使って自炊することも可能である。ただ、湿度が高いことと虫が多いことには困った。特に、香港の蚊に刺されると跡に残るので虫除けはしっかり行ったほうがよい。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 90000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:30000 円、 光熱水料: 円、 通学費: 円、 食費:40000 円、 電話代: 500 円、 インターネット代: 円、 書籍代: 4000 円</p> <p>その他:(具体的に) 蚊対策、除湿剤、交通費</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に: )</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>特になし。日本のものはたいてい手に入る。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>治安は非常に良い。ただ、スリ、痴漢、また日本人が殺される事件がまったく起こらないわけではないので、あまりローカルな場所に興味本位で立ち入ることは避けた方がよいと思う。外国人は、街中を巡回する警察官から身分証の提示を求められることがあるが、日本人はほぼ声をかけられない。声をかけられた場合は HKID カードか香港大学の学生証を提示する。天候について、日本より湿度が高く、特に春先から夏場にかけては衣類にカビが生えることもあるので、除湿剤とこまめな掃除で対応する。冬場以外、室内には低温の冷房がつくので、夏場でも上着を所持しておいたほうがよい。また、香港の虫は全体的に強いが、特に蚊は非常に手強く、跡が残るので入念に虫除けをしたほうがよい。</p>
<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>多くの人が現金を使用しており、ローカル店ではクレジットカード払いのできない店も多いので、多少なりとも現金が必要。クレジットカードによるキャッシング、citibank カードを使った現地通貨引き出し、といった方法でお金を管理するほか、学内にある二種類の銀行で口座を開設し日本から送金することもできる。特に HSBC 香港大学支店では、口座維持費がかからず一年間限定で使える香港大学の学生向け口座を開設することができる。どの方法を選んでも手数料や手間はあまり変わらないと思う。</p>
<p>4. 住居、生活環境</p>	

住居の種類(○印をつける)	・㊦ ・ホームステイ ・民間アパート ・㊧の他( 大学が借り上げたアパート )	
住所／電話番号	9 Lung Wah Street, Kennedy Town, Hong Kong	
費用(月額)	2000-2500HKD	
どのようにして見つけたか	香港大学の CEDARS に申請すると、住居を割り当ててくれる。原則として一度入った寮に一学期間は滞在しなければならないが、理由があれば CEDARS に申請して変えてもらうこともできる。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	外でアパートを借りるのにはお金がかかるので、CEDARS から割り当てられる住居に住むことをすすめる。いくつかの種類があるので、自分の留学の目的に応じて選択するとよい。寮:居住する学生はアクティビティへの参加が必須。交換留学生は参加を免除されている寮もある。Non-hall:大学が借り上げた住居。アクティビティはなく、多くの居住者が留学生。カレッジ:学部生、院生、教員、また、香港人、中国人、外国人、といった多様な人間が住む。アクティビティの参加は強制ではない。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	香港大学の特別な行事の1つに、High Table Dinner というものがある。学部や寮が主催するもので、例えば寮の High Table Dinner では、その寮に住む全員が正装をしてガウンを着用し、大ホールでゲストの話を聞きながら食事をとる。一度参加するのもいいと思う。 生活について、香港の大手スーパーといえば、welcome と parkingshop だが、parkingshop のほうがややお得な価格設定であると言われている。Parkingshop のほうをすすめたい。	
<b>5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト</b>		
サイト名	URL	コメント
openrice		香港の hotpepper。
MTR Mobile CitybusNWFB	※アプリです ※アプリです	最寄りの地下鉄を検索できます。 香港のバスのルートや料金などを検索できます。たいていの場所へはバスで行くことができるので、役に立つアプリです。
<b>6. その他の特記事項</b>		

